

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念、基本方針が職員間で浸透していない。又ホーム独自の理念、スローガンについて管理者と職員間で意思統一ができていない。	ホーム独自の理念、スローガンを作り、職員の意識を高める。	職員全員で目標やスローガンを提出してもらう。ホームとしての独自の理念、目標、スローガンを決定する。会議等の際にはそれを唱和し、職員誰もが意識できるようにする。	1ヶ月
2	5	利用者の行動を制限すること、いわゆる身体拘束に対する意識が職員間でばらつきがみられる。	身体拘束はしないことを前提としたケアを職員全員が理解できる。	身体拘束に関する意識の向上のために、勉強会を定期的に行なう。	3ヶ月
3	7	職員の意見や提案を聞く機会が少なく、意見が反映されていない。	職員ひとりひとりが目標をもってケアに取り組むことができる	全体会議は1回/月 第三週目の金曜日開催する。全体会議終了後、ユニット会議を開催する。ユニット会議は必要に応じて適宜開催し、職員の意見や提案を基に話しあいができる時間をつくる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。